

茨城県陶芸美術館 企画展

人間国宝 松井康成と原清 展

プレス・リリース

人間国宝
松井康成と原清
展



—
馬あり、珠あり

茨城県陶芸美術館
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2345 番地 (笠間芸術の森公園内)

Tel:0296-70-0011 Fax:0296-70-0012

<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

1 展覧会名

人間国宝 松井康成と原清 展

2 主催

茨城県陶芸美術館

3 後援

茨城新聞社

4 会期

2020年10月31日（土）－2021年3月21日（日） 118 日間 開催

5 利用情報

開館時間：午前9時30分から午後5時まで（入場は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（ただし11月2日，11月23日，2021年1月11日は開館），

11月4日(水)，11月24日(火)，1月12日(火)，年末年始（12月28（月）～1月1日（金））

6 観覧料

一般520(420)円 満70歳以上260 (210) 円 高大生370(320)円 小中生210(160)円

※（ ）内は20名以上の団体料金。土曜日は高校生以下無料。（ただし，長期休業日に当たるときを除く）

※10月31日（土），2月27日（土）は70歳以上の方無料

※県民の日11月13日（金）は，すべての方無料

7 展覧会概要

当館は，重要無形文化財「練上手」^{ねりあげて}保持者の松井康成（1927-2003）と「鉄釉陶器」^{てつゆうとうき}保持者の原清（1936- ）の作品を多数収蔵しています。本展では，二人の作家の表現の深まりやひろがりにふれながら，それぞれが到達した美の形について掘り下げていきます。

松井康成は，1960年代終わりに初期の練上を発表して以来，器胎表面に生じる亀裂を生かした「嘯裂」や「象裂」から，表面を研磨することで練上の文様を鮮やかに浮かび上がらせた「玻璃光」など，練上を中心に独自の表現を展開していきました。数ある作品の中でも作者が「美須麻流之珠」^{みすまるとのたま}と表現したような「珠」に対する思いにも焦点を当てて紹介します。

一方，原清は，重ね掛けした黒釉と褐色釉^{くろゆう}とおおらかなフォームにあしらった「鉄釉陶器」を中心に，美しく青みがかった釉調が特色の「鈎窯」^{かぎよう}や，翡翠に似た発色をする「翠釉」^{みどりゆう}など幅広い制作を展開しています。特に代名詞と言える馬文の大壺や大鉢などのほか，風に揺らぐ草花など自然を題材としたものが多く，彼の自然への愛着を感じさせます。

二人の人間国宝の技法や作風の展開など，様々な観点から着目し，彼らの作品の魅力を紹介します。

広報文1（41文字）

二人の人間国宝松井康成と原清，それぞれが到達した美の形について掘り下げていきます。

広報文2（74文字）

二人の人間国宝松井康成と原清の作品を約110点展示します。それぞれの作家の表現の深まりやひろがりにふれながら，到達した美の形について掘り下げていきます。

広報文3（133文字）

練上技法を中心とした独自の表現を展開してきた松井康成と，鉄釉陶器を中心に鈎窯，翠釉など幅広い制作を展開している原清，両者の作品約110点を展示します。二人の人間国宝の表現の深まりやひろがりにふれながら技法や展開を追い，それぞれが到達した美の形について掘り下げていきます。

8 見どころ

- (1) 松井作品約55点，原作品約55点（計約110点）の当館所蔵の選りすぐりを展示。
- (2) 松井康成の練上技法の展開と“ふかまり”を技法ごとに紹介。
- (3) 原清の鉄釉陶器をはじめとし，鈎窯，翠釉などの幅広い作品の“ひろがり”を紹介。
- (4) 「馬」，「珠」，「自然」 ～それぞれが求めた美～ に焦点を当てた作品の紹介。

9 関連企画

◆ワークショップ

- 1 「体験！人間国宝の技 その1（“抜き絵”に挑戦しよう！）」 [要予約]
内容：陶器のお皿に抜き絵技法を用いて文様を描くワークショップです。
日時：12月5日（土）13時30分から15時30分
 - 2 「体験！人間国宝の技 その2（“練上手”に挑戦しよう！）」 [要予約]
内容：オープン粘土で練上技法をつかって小さな壺形オブジェをつくるワークショップです。
日時：2月6日（土）13時30分から15時30分
- (1, 2ともに)
場所：当館地下1階研修室
対象：中学生以上
参加費：無料（展覧会をご覧頂く場合は，別途観覧料が必要となります。）
定員：10名（先着順） 予約は電話にて10月31日（土）以降受付

◆ギャラリートーク（予約不要 ただし先着15名）

担当学芸員が展覧会をご案内いたします。

日時：11月7日（土），12月19日（土），1月16日（土），3月6日（土） 各日とも13時30分から
会場：当館地下1階 企画展示室
参加費：無料（観覧料にてご聴講いただけます。）

◆つくば美術館土曜講座

「人間国宝 松井康成と原清」

講師：岩井基生（茨城県陶芸美術館主任学芸主事）

日時：11月14日（土）13時30分から15時00分

会場：茨城県つくば美術館 2階講座室

TEL:029-856-3711 ※詳しくは茨城県つくば美術館へお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため，今後の状況により予告なくイベント等を中止・延期する場合がございます。変更の場合には，当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

10 問い合わせ先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345（笠間芸術の森公園内）

TEL：0296-70-0011 FAX：0296-70-0012

担当学芸員：学芸課 岩井・飯田

広報担当：企画管理課 柴崎 e-mail：kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

11 作品キャプション

- ① 松井康成 練上嘯裂茜手壺 1982年 当館蔵
- ② 松井康成 練上嘯裂茜手大壺「深山紅」 1981年 当館蔵
- ③ 松井康成 練上風白地大壺「ロブノール」1987年 当館蔵
- ④ 松井康成 練上玻璃光大壺「西施」1998年 当館蔵
- ⑤ 原清 鉄釉馬文大壺 2005年 当館蔵
- ⑥ 原清 鈎窯八角鉢 1972-1973年 当館蔵
- ⑦ 原清 鉄釉鳥文大鉢 1995年 当館蔵
- ⑧ 原清 翠磁刻文香炉 1993年 当館蔵

12 出品作品画像

下記の作品画像は広報担当のe-mailアドレスまでご連絡いただけましたらデータをお送りします。
使用の際には作品キャプションを併記してください。

①



ねりあげしょうれつあかねでつぼ
松井康成 練上嘯裂茜手壺
(1982年 当館蔵)

②



ねりあげしょうれつあかねでおおつぼ しんざんこう
松井康成 練上嘯裂茜手大壺「深山紅」
(1981年 当館蔵)

③



ねりあげふうはくじおおつぼ ろぶのーる
松井康成 練上風白地大壺「ロプノール」
(1987年 当館蔵)

④



ねりあげはりこうおおつぼ せいし
松井康成 練上玻璃光大壺「西施」
(1998年 当館蔵)

⑤



てつゆううまもんおおつぼ
原清 鉄釉馬文大壺
(2005年 当館蔵)

⑥



きんようはっかくぼち
原清 鈎窯八角鉢
(1972-1973年 当館蔵)

⑦



てつゆうちようもんおおぼち
原清 鉄釉鳥文大鉢
(1995年 当館蔵)

⑧



すいじこくもんこうろ
原清 翠磁刻文香炉
(1993年 当館蔵)